※令和４年度以降入学生用

学校番号	1004

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「美術２」（光村図書）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術Ⅰの発展的な内容を学習します。自然や社会の中にいる自己を見つめることや、感じとったことなどから考える「絵画」「彫刻」、目的や条件を考える「デザイン」、「鑑賞」の分野について学習します。
・表現形式の特性や、色彩・形体に着目し、自分なりの感じ方、見方、表現を深められるよう学習していきます。
・素材と向き合いながらイメージを膨らませ、自分なりに工夫してイメージしたことを表現する力を身につけましょう。

２　学習の到達目標

（１）対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができる。
（２）造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ることができる。
（３）主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、感性と美意識を高めるとともに、美術文化に親しむ。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表している。	感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。また、美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション	【鑑賞】 ・自己紹介 ・昨年度の振り返り、教科書等の鑑賞を通して「美術Ⅱ」の学習イメージをもつ。 ・絵の具や棚の整理 ・琳派の作品鑑賞	c：美術Ⅰでは体験していない表現に興味を持ち、これからの学習に意欲を高めている。また、日本美術のよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。			授業態度 ワークシート
	デッサン	【素描】 ・立方体、円柱、球体の基本的なデッサンの方法を学ぶ。 ・モチーフを選び、デッサンする。	a：形の取り方、鉛筆での陰影のつけ方を理解し、表現できる。 b：対象を見つめ、形体の特徴や明暗を意識して表現しようとしている。 c：モチーフをデッサンで描くことに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとする。	制作の様子 作品	制作の様子 作品	制作の様子 ワークシート
	植物のクロッキー	【素描】 ・花瓶に活けられた花を15分間で描く。 ・モチーフを変えながら、クロッキーを繰り返す。	a：モチーフを細部ではなく輪郭線で表現するということを理解し、植物のシルエットや特徴的なラインを表現しようとしている。 b：対象を見つめ、形体の特徴をつかみ、表現しようとしている。また、線の強弱などの表現を工夫している。 c：クロッキーの目的や効果に関心を持ち、表現に取り組もうとする。	制作の様子 作品	制作の様子 作品 振り返り	制作の様子 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	日本画『花』	【絵画】 ・花瓶に活けられた花をスケッチし、下図を作成する。1学期に描いたクロッキーなども参考にする。 ・和紙にトレースし、骨書きを行う。 ・顔彩で下塗りを行う。 ・細部を書き込んでいく。 ・仕上げ ・鑑賞	a：日本画の技法を理解し、隈取りなどの技法を使用して作品を制作することができる。 b：対象を見つめ、特徴をつかみ、表現しようとしている。また、意図に応じて表現を工夫している。 c：モチーフを日本画技法で表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとする。	制作の様子 作品	制作の様子 作品 振り返り	制作の様子 ワークシート 鑑賞の様子
	アールヌーヴォーのデザイン	【彫刻】 ・アールヌーヴォーの概要を、代表的な作家や作品を調べながら学ぶ。 ・デザインの下絵を描く。 ・木彫版に下絵を写し、彫刻刀で浮き彫りする。 ・仕上げ ・鑑賞	a：アールヌーヴォーの概要を理解し、デザインすることができる。また、浮彫りの技法を理解し、立体的な表現ができる。 b：条件や美しさなどから、デザインの構想を練っている。また、意図に応じて表現の工夫ができる。 c：アールヌーヴォーのデザインのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。また、浮彫り技法で表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとする。	制作の様子 作品	制作の様子 作品 振り返り	制作の様子 ワークシート 鑑賞の様子
3学期	ステンシル版画の手ぬぐい	【版画】 ・版画の種類とステンシル技法について学ぶ。 ・アイデアスケッチ ・版づくり ・手ぬぐいへの印刷 ・仕上げ ・鑑賞	a：ステンシル版画技法を理解し、版づくりや印刷に取り組むことができる。 b：課題の条件、技法、色彩、美しさなど視覚効果を考え、表現の構想を練っている。また、意図に応じて表現の工夫ができる。 c：版画技法で表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとする。	制作の様子 作品	制作の様子 作品 振り返り	制作の様子 ワークシート 鑑賞の様子
	授業のまとめ	【鑑賞】 ・美術Ⅱの作品を返却し、1年間で学んだ技法と表現を振り返る。 ・1年のふり返り感想シートを記入する。	c：１年を振りかえり、授業で学んだ技法や制作した作品を思い出し、授業の感想を書こうとしている。			授業の様子 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度